

[長崎市理財部資産経営室からのお知らせです。]

池島地区の公共施設のあり方を考える市民対話《かわら版》

❀ 第1回 開催報告 ❀



ご参加いただいた皆さま
ありがとうございました。

日時 平成29年11月22日(水) 17:00~18:30

場所 池島開発総合センター

参加者 地域の皆さん 25人

人口減少や少子高齢化が進む中であっても暮らしやすいまちであり続けるために、池島にある公共施設はこれからどうあったら良いのか・・・将来に向けた公共施設のあり方を皆さんと一緒に考えていきたいと思い、市民対話を開催しました。

はじめに いま起きている“変化”と状況

長崎市から、人口減少社会の到来や、少子高齢化の進展など、「いま起きている“変化”と状況」についてお話ししました。

施設が古くなってきている

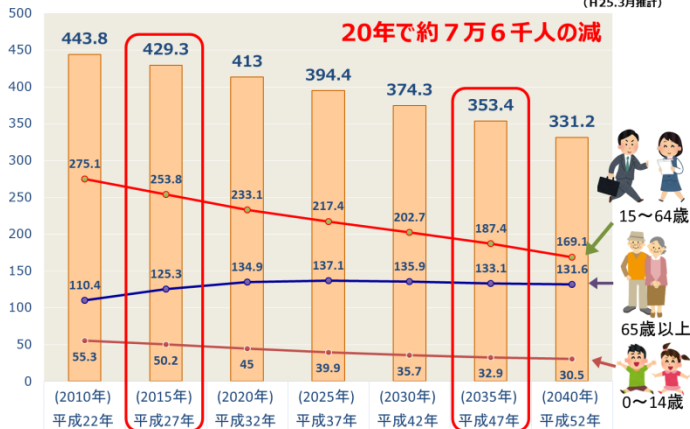
- ・市の施設のうち、全体の半分以上が築30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。
- ・修理や建替えの時期が一斉にやってきます。

人口減少・少子高齢化が進んでいる

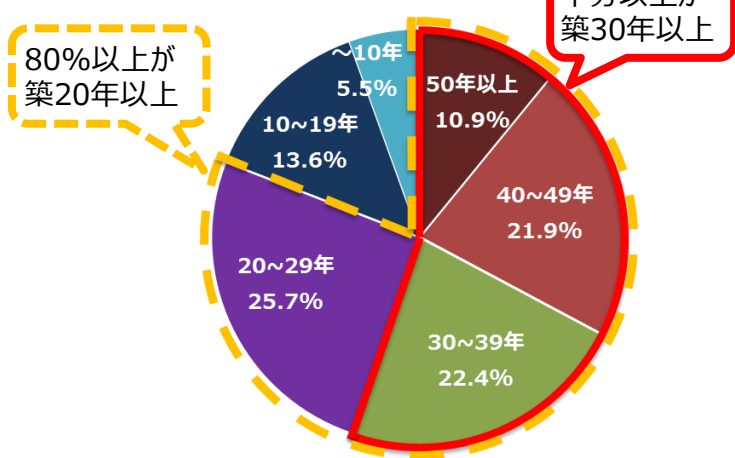
- ・長崎市の人口は、今後20年間で約7.6万人の減少が予想され、施設の利用者も減少していくことが予想されます。
- ・15~64歳のいわゆる「働く世代」の人口が大きく減少して税収が減少することが予想されます。
- ・今後も少子高齢化が進み、福祉や医療にあてる費用が増えることが予想されます。
- ・このため、公共施設の修理や建替えにあてるお金は少なくなっていくます。

<人口の将来予想>

資料：国立社会保障・人口問題研究所 (H25.3月推計)



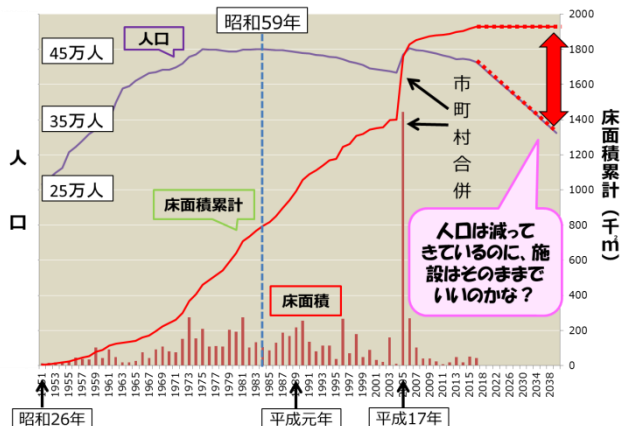
<築年数と施設の量(床面積)>



人口は減少しているのに、施設は多いまま

- ・長崎市の人口(紫の線)は、昭和59年をピークに減少していますが、施設の量(赤の線)は増え続けています。
- ・今ある施設を全て持ち続けることが必要でしょうか？

<施設の面積と人口の移り変わり>



はじめに 時代の変化に対応できる公共施設の見直し

長崎市から、「いま起きている“変化”と状況」に伴い、なぜ公共施設のあり方を見直す必要があるのかお話ししました。

ところで…

建物の生涯では、どんな費用がかかるかご存知ですか？
建物を建てて、使わなくなるまでにはおおよそ次のような費用がかかります。

建物は建てる時だけでなく
修理や管理にもたくさんのお金がかかるんだ。
※一般に建設費の3～4倍のお金が、維持管理から解体までにかかるといわれています。



公共施設を取り巻く時代の変化

人口減少

少子高齢化

長崎市の人口は、20年後には18%も減少すると予想されているんだ。

64歳以下の人口は大きく減っていき、税金(市の収入)が減っていくよ。

公共施設の
利用者の減少

医療・介護など福祉
にあてる予算の増大

なのに

なのに

公共施設の量は増え
続ける

古くなった公共施設の
修理に費用がかかる

人は減っていくのに、施設の量はそのままだと、使われない施設が増えてしまうね。

市の施設の半分以上が、築30年以上で老朽化しているよ。これからますます修理の費用がかかるよ。

公共施設はこのままでいいのでしょうか？

長崎市が

『人口が減っても、暮らしやすいまち』であり続けるために

今、公共施設の使い方の見直しが必要です！



公共施設のかしこい見直し方

長崎市から、どのように公共施設を見直していくかについて、お話ししました。

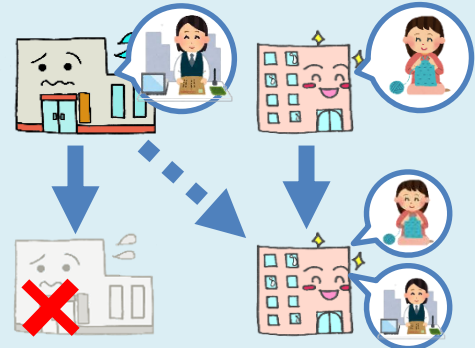
まず大切なことは…

施設を見直すことは、行政サービスを無くすことではありません。



施設の見直しとは、あくまでも施設のあり方や使い方を見直すということです。仮に施設が減っても、そこで担っていた、生活に必要なサービスを無くすことではありません。

＜工夫した使い方の例＞



建物は減っても… サービスは残る

公共施設を見直す時の視点

公共施設の使い方を見直す時には、次の7つの視点で考えていきます。

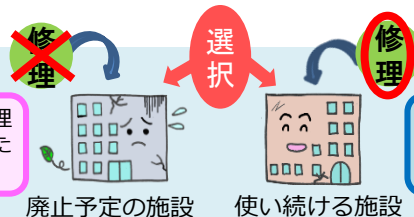


見直しの手法

見直しには、大きく3つの手法があります。

手法1 施設を選んで、使い続ける
施設はしっかり管理！

廃止予定なのに修理をするのは、もったいないね！



安全で安心して利用できる施設管理に努めます

手法2 ゆずりあいと工夫



工夫することで建物が減っても活動は続けられ新たな交流も生まれます。

手法3 新たな財源を確保する

- ◇使っていない土地を売ったり、貸したりする
- ◇民間と連携・協力し、より良い行政サービスを効率的に提供する

グループ協議

施設の利用状況を確認

地域にある公共施設をどのくらい使っているか、あらためて振り返りました。

- ①施設の名前
- ②どんな目的で利用しているか。
- ③利用の頻度(週に1回、月に1回など)を、付せんを書いて出し合いました。



島内の公共施設の利用状況について



利用状況を付せんに書き出しました。



こんなにたくさん記入していただきました。



参加した皆さんからアンケート等で出た意見

- 確かに見直しは必要だけれども、池島においては施設が古くなってもなくなってしまうのは不自由に感じるのでどちらとも言えない。
- 利用価値がない施設を無くすのはいいが、働いている人がいるということも考えながら検討してもらいたい。
- 必要ではない施設はたくさんあると思う。
- 地域住民の意見も聞いてほしかった。



【講評】（アドバイザー：首都大学東京 都市環境学部 讀岐 亮先生）

公共施設は、維持するために必要なお金の問題もありますが、安全安心か、さらにそれが皆さんにとって必要なものなのかということも重要です。公共施設は管理者である市や、その施設がある地区だけのものではなく、市民全体のものでもあります。次回以降もそれを意識してもらって、施設のあり方を一緒に考えていきましょう。

今回の対話では、皆さんが、公共施設を日常生活でどういうふうに使っているのかを書き出していただき、皆さんの施設ごとの利用頻度や利用目的の実態を知ることができました。



次回の対話では…

- ①長崎市の公共施設の **配置の考え方** をお示しし、第1回で出された意見を参考に市の方で検討した **改善プラン** をお示ししたいと考えています。
- ②それに基づいて、意見をお聞かせください。

次回の対話

第2回 日時：平成29年12月18日(月) 17:00～18:30

場所：池島開発総合センター

◆お問い合わせ：長崎市理財部資産経営室(☎直通：095-829-1412)